

「角田山町民登山」について

心配した天候も雲ひとつ無い絶好の登山日和になった。待ちに待った町民登山の朝である。

今年は、前例のない企画をたてた。「目標を200名とし、観光バスを仕立てて四方の登山口から一気に頂上めざし、踏破した後、観音堂前で式典をして黒埼誕生100年を祝おう。」ということである。一般参加、スタッフも含めて総勢170余名。

受付を済ますと各登山口別に集合し、点呼を受けて出発式、郡町村会・金子由征会長から誕生100年を祝う言葉と「黒埼が西蒲原郡から別離することは寂しいが、市へ合併した後も良き隣人としてご指導いただきたい。」と祝いの言葉「気をつけてしっかりと健康づくりをしてきてほしい。」と激励の言葉をいただきました。

その後、山の会の皆川会長から登山に対して注意を受けていざ出発！

予定どおりに各登山口から開始した。無線から「順調に登山中！」と次々に情報が寄せられる。

前日から準備した「とん汁」を先に着いた先発隊が、準備をはじめた。当初200名を想定したので、その量は多い、量もさることながら、煮炊きの器具もいっぱいになった。荷揚げは、巻町の口添えて稲島自治会から協力をいただき、荷揚げ用



蛸の里コース



稲島コース



湯の屋コース



灯台コース

ロープウェイで揚げられたので助かった。

大体時間とおりに全登山口から到着した。点呼！異常なし。

開式、楯教育長からご挨拶。巻町から歓迎のご挨拶と講演。「角田山の自然と環境保護」を巻町教育委員会の袖山先生からいただいた。その中で、「この角田と弥彦は非常に動植物の量もあり、南限・北限の動植物が多く見られる。この環境を維持していくには、登山者一人ひとりの協力が必要です。」と話されました。

その後、広大に広がる蒲原平野と新潟市を眼下において、おにぎりを頬ばり、具だくさんの「とん汁」をお代わりして、秋晴れの下で満腹感に浸っていました。

点呼を受けて下山、お腹が張って下山しにくく、やっとおりた方もおられたようでした。参加者全員無事下山、黒埼町へ到着、総合体育館前で解散しました。

なお、山頂に写した記念写真は、普通Lサイズで贈呈しますので、下記に一報ください。

総合体育館内山の会事務局・渡辺（☎377-5211）へ

歌づくり人生

11月2日(木)
黒埼誕生100年を記念し、遠藤実講演会が農村環境改善センターで開催されました。当日は、約500人の聴衆が集まりました。講演会に先立ち、鶴巻春雲社中の皆さんの琴演奏や町出身の歌手、愛一二三さんの歌が披露された後、町民歌「黒埼よいとこ」の作曲者、遠藤実さんによる「歌づくり人生」と題した講演が行われました。



子どもたちの力作で賑わう

11月3日(金)～5日(日)
町民文化祭が総合体育館と北部地区公民館で行われました。総合体育館では、保育園児や小学生児童、中学生生徒の図画などの力作、盆栽展、菊花展、各種公民館・美術団体活動での作品が展示され、多くの人で賑わっていました。

都市と農村の大交流会

11月3日(金)
コスモスフィールドin立仏が立仏町民農園周辺で開催されました。当日は、JA越後中央・黒埼支店の協力の下、野菜売り切り御免市や新米コシヒカリ一升てんこ盛り大即売会、チューリップ球根つかみどり、コスモス切り取りコーナー、黒埼茶豆を使ったずんだまんじゅうコーナーなどのイベントが行われ、多くの人を訪れていました。

